

「新・成蹊創造プラン」着々と進行中
成蹊教育の更なる充実を目指して

[CONTENTS]

- 2 新年を迎えて
- 4 学園の施設整備について
- 6 格付けの再取得について
- 7 桃李の人々
- 10 2004年度の就職内定状況について
- 12 大学の近況
- 14 中学・高等学校の近況
- 15 小学校の近況
- 16 創立100周年記念事業募金局からのご報告
- 18 保健管理センターから
- 19 学園トピックス
- 20 学校行事予定(1月～3月)／学園史料紹介

3年目を迎えたフレンドシップ・コンサート



新年を迎えて

皆 様新鮮なお気持ちで新年を迎えられたこと存じます。

昨年は夏の猛暑という異常気象や新潟中越地震という災害もあり、また国際的にもイラク情勢は混乱の度を加え、なかなかすつきりとした気分が年越しという訳には参りませんでした。経済の面では一昨年に引き続き底堅い推移を示しましたが、構造改革は思ったようには進展せず、課題を残しました。

このような中で我が成蹊学園は一年に引き続き「将来構想」の実現に向け多忙な一年でありました。大きな出来事としては何といたっても法科大学院の開設でありました。法務研究科長となられた廣部和也教授をはじめとする関係者の大変なご努力と、ご支援者の惜しみないお力で無事新校舎でスタートし、順調に運営されております。成蹊法科大学院の特徴は社会人の入学者が多いこと、この制度創設の趣旨に適っていると思えます。ただ、新司法試験の将来の合格率が当初伝えられたよりも低いという法務省筋の見解も漏れて来、将来はなかなか厳しいということも

予想されます。

学科再編も大きな進展がありました。昨年四月から経済学部が「経済学科・経営学科」の二学科制から、「経済経営学科」の一学科制となり、「社会と環境」「組織と人間」「企業と戦略」「金融と会計」「経済と政策」の五コース選択制となり、それぞれのカリキュラムに従って勉強することとなりました。大学教育が社会のさまざまなニーズから遊離したものであってはならず、大学としてニーズに応える角度から研究に取り組んで行くという狙いです。また本年四月から工学部が「理工学部」に再編され、学科構成も従来の「機械工学科」「電気電子工学科」「応用化学科」「経営・情報工学科」「物理情報工学科」の五学科制から「物質生命理工学科」「情報科学科」「エレクトロメカニクス学科」の三学科制となります。これも二十一世紀が工業社会から、知識社会へと移行して行くのに対応し、狭い専門学科の壁を取り払って総合的・創造的で、ミッションオリエンテッドな学科構成としたものです。

昨年四月から永年の課題でありま



重な一号館は取り壊しましたが、新たな学園のランドマーク的な建物になることが期待されます。

小学校はかねて「将来構想検討委員会」でも提唱され、懸案でありました少人数教育の実現を目指して、現行の三十八人学級から二十八人学級制に踏み切ることとなりました。総定員を不変とすると学級数を増やさなくてはならず、取りあえずトシネル山グラウンドに仮校舎を建て、いずれ小学校の校舎再開発につないで行く計画です。

中学校・高等学校は少し先になりますが、校舎再開発を検討することとなります。

このように学園は教育研究の充実に向かつて将来構想検討委員会の答申に沿って着々と進めております。これに要する資金ですが、一〇〇周年記念事業募金は現在お申し込みを頂いた金額の合計が約十五億円で、目標である五十億円に較べますとまだまだ進捗しておりません。今年はまだ想を新たに推進して参る所存ですので、どうか皆様のご協力をお願い致します。

また昨本年学園のみに関することではなく、全教育界に関するところで、私立学校法が改正され、本年四月より施行されることとなりました。かねて文部科学省の審議会で議論されてきましたが、その結論に基づいて改正がまとまったものです。改



理事長 岸 暁

理事長略歴

- 1950年 成蹊高等学校(旧制)卒業
- 1953年 東京大学経済学部卒業
株式会社三菱銀行入行
- 1998年 株式会社東京三菱銀行頭取
- 1999年 成蹊学園理事
- 2000年 株式会社東京三菱銀行取締役会長
- 2002年 成蹊学園理事長
株式会社東京三菱銀行相談役

した待望の「国際教育センター」が発足しました。小学校から大学まで一貫教育の環境が整っている学園にふさわしい国際理解教育、コミュニケーション能力の開発を目指しますが、センター長となられた武藤恭彦教授を中心にそのコンセプトを各学校・大学と事前に徹底的に議論しておりますので所期の成果が期待できます。

設備の面では「情報図書館」の建設計画の具体的検討が進められ、いよいよ着工に漕ぎ着けました。図書館は学校にとって最も重要なインフラでありますので、橋本竹夫教授を中心に幅広い観点からその機能、あり方を徹底的に議論して参りましたが、新しい機能に富んだ内容と、本学園OBの建築家坂茂氏の斬新なデザイン設計を得て、(歴史のしみ込んだ貴



正の主たる内容は、学校法人のガバナンスに関するもので、理事・理事会など役員に関すること、監事に関すること、財務内容の公開に関することなどです。最近極く僅かですが、私立学校のなかで運営が適切で欠くものがあり、このような改正を速めることになったかと思いますが、経済界でもガバナンスの問題が多発しています。ガバナンスの点ではお手本と見られて来た米国でもエンロン事件のようにそれこそ大規模かつ深刻な不祥事が起こったことは記憶に新しいところです。ガバナンスの問題は結局のところトップの姿勢、清潔さ、忠実度に負うところがほぼ全てといってよいでしょう。しかし万一トップに問題ありとわかった時にどう対応出来るか、またそうなる前に予防的牽制的な仕組みをどう作っておくかというのがガバナンスの問題でしょう。現実の問題となったときは意外に解決が困難なものです。今回の私立学校法改正には理事の(理事長も含む)解任規定を寄付行為に盛り込むよう求めているのもこうした趣旨からだと思います。また事態がそこ迄行かなくとも学校を害する行為を行っていくことも大切なことと思えます。「監事機能」の強化充実や財務内容の公開もこうした意味で重要だと思えます。今回の法改正を取り込んだ寄付行為の改正は明年三月までと定められており

ますが、本学園では検討の上本年秋頃には寄付行為の改定を終えたいと考えております。この機会に十分議論を尽くしたいと考えております。

これに先立ち本学園では組織運営のあり方が適切かどうか、会議体等がうまくワークしているかどうか、意思決定が適切になされているか、等々につきコンサルタント(三菱総合研究所)を使って全学園教職員約二百名にインタビューしてご意見を伺い、全教職員からアンケートを取らせて貰いました。その結果は今後分析して学園運営に生かして行きたいと考えています。

このように学園は成蹊教育の充実に目指して努力を続けて参りますので、関係者の皆様には今年もご支援、ご叱声を賜りますようお願い申し上げます。また、学生・生徒諸君はこうした努力に添えて充実した学校生活を送られるよう期待します。成蹊の学生・生徒諸君は学校も家庭も恵まれており、純粋で穏やかで、柔軟であり、周囲との親和性に優れています。しかしそれだけでは使命を果たすに十分ではありません。諸君は思索を重ねて自己の信念を構築し、その信念に忠実に、妥協せず、骨太の人間に成長して欲しいのです。青少年の頃の一年は刮目すべき進歩が可能です。今年の皆さんのご健勝、ご精励、ご成長、そしてご多幸をお祈りして新年のご挨拶と致します。





■ 正門前掲示板
行事看板の機能を含めた掲示板など、正門周りを整備した。



■ 大学西1号館模擬法廷
東京高等裁判所をモデルとした本格的な模擬法廷は、法科大学院の授業に利用されている。



■ 大学14号館パソコン教室
120台のパソコンとソフトが設置され、全学部の学生に開放されている。



■ 音楽練習室
学生会館の地下に音楽練習室を新設。壁、天井に防音加工を施し、気兼ねなく音楽練習が行える環境を整備した。



■ 大学8号館展示ケース
大学7号館に通じる1階の通路壁の展示ケースには学生の作品を展示している。



■ 大学サッカー場
防砂対策のため人工芝化したことにより、雨上がり後の即時使用が可能となり、利用率が向上した。



■ 小学校体育館屋内プール
可動式プール床を採用し、深さ調整を可能とすることにより、児童の身長差に配慮している。また、サンクンガーデンを配し、外光を取り入れることにより、地下空間を明るく演出している。



■ 本館出入口
学内施設のバリアフリー化推進の一環として、出入口にスロープ及び自動ドアを設置。



■ 屋外多目的トイレ
身障者の方や小学校に來校する乳児連れの方々でも気軽に利用できる。多目的トイレは、今後更に拡充していく予定である。



■ 中学高等学校中央館
食堂(1階)、事務室(2階)、校長室・コンピュータ室(3階)、図書館(4階)等、多目的に利用されている。



■ 大学12号館
2002-2003年の工学部校舎の改修工事の際、各種配線を廊下天井に集約した。これにより施設の利用用途変更フレキシブルに対応できる。

成蹊学園の施設整備について

成蹊学園財務部長 野田 吉政

■ 大学再開発計画の成果

成蹊学園のキャンパスの景観は、一九九六年度に完成した大学再開発計画の遂行により、現在の姿に一新されました。

戦後、一斉に設立された新制大学の校舎は、五〇年の歳月を経てその多くが建替時期を迎えましたが、成蹊大学においてもキャンパス再開発計画がとりまとめられ実施されました。それは大学の必要を満たすものでしたが、同時に他大学に先駆けて新しい時代のコンセプトを取り入れた計画でもありました。そこでは何よりも在学生と教職員のキャンパスライフの快適さや居住性の高さが目指されました。最近の成蹊大学の様子をご存知ない方々へのご案内を兼ねて、大学再開発からもたらされた成果をお知らせします。

まず、キャンパスの中央には、大学図書館と並んで、経済・文学部の個人研究室一四二室を収容する十二階建ての十号館が配置され、樺の梢を突き抜けるその外観は、JR中央線の車内からも遠望できます。大学図書館に隣接していた旧研究室棟は取り壊され、その跡地には芝生の中庭(サンクンガーデン)が新たに造成されました。中庭の西側には、外観が同じツインビルとして、三号館と八号館が並び立っています。その北隣りの工学部エリアには、大小さまざまな講義室を収容する五階建ての九号館が建設され、三号館の西隣りには、扇形構造の小講堂として五〇〇人余を収容できる四号館ホールが建設され、授業のほか、講演会、各種説明会、学会などに活発に利用されています。

キャンパスの中央部を成す五つの建物が相次いで建設されたことにより、従来の樹木の豊富さに加えて、濃いレンガ色の色調で統一された整然としたキャンパスの景観が生まれました。

大学再開発計画による新しいキャンパス造りは、学園・大学と三菱地所設計との共同作業によりなされたものであり、そこには練り上げられた次のような設計コンセプトを見出すことができます。

一つは、校舎群の煉瓦色の壁面と芝生の中庭を見渡すランドスケープに配慮した英国風庭園美の醸成。二つは、マルチメディア対応の授業用設備に調和する教室・建物内装の機能美の追求。三つは、中庭を囲むそれぞれの建物をもつ固有の機能にダイレクトにアクセスできる効率的な動線の創出。四つは、綿密な外構工事により建物周りの死角や物陰を排除した明るく清潔なキャンパス空間の造成です。

この再開発計画の完成の後にも大学の施設整備は進み、一九九七年には、外国人留学生・研究者の宿泊施設として樺並木沿いに国際交流会館が、二〇〇一年には、工学部の北側に隣接する松林の中に工学部の実験実習教室を収容する五階建ての大学十四号館が新築されました。さらに、二〇〇四年には、法科大学院のスタートに合わせて、模擬法廷教室や専用図書室などを備え、大学院生は二十四時間いつでも入退館ができる大学西一号館が、樺並木の南端に新築されました。

■ 小学校、中学・高等学校の校舎建築等

大学再開発計画の完成に引き続き、小学校、中学・高等学校の施設整備が進みました。一九九六年には、底面の昇降により水深を調整できる二十五メートルと引出し型観覧席を備えた小学校体育館が新築されました。また、一九九七年には、中学・高等学校の中央館が新築されました。今後、二〇〇七年以降、学園創立一〇〇周年事業の後期建築計画として、六学年・各四学級の全教室を収容する小学校校舎と、中学校・高等学校の三つの校舎を全面的に建て替える整備計画が作成され実施される予定です。また、二〇〇七年には学園本館の大規模改修工事も予定されています。

■ 情報図書館の着工

学園創立一〇〇周年事業の前期建築計画として、旧大学一号館跡地に情報図書館が新築されます。二〇〇五年一月に着工され十八カ月後に竣工の予定です。地上五階地下二階で、中央部には吹き抜けのアトリウムが設けられるため、正面の入口から背後の樺並木のたたずまいを見通すことができるようになります。約一千席の座席のうち、二七四席は個室閲覧室となります。従来の大学図書館とは違って開架図書が多数を占めるため、気軽に本を手にとることができるようになります。一方、地下二階には閉架図書専用の自動化書庫が設けられ、パソコンで検索して出庫の指定を受けた本は、二階カウンターまでスピーディーに自動搬送されるようになります。在学生はもとより、中学高校生徒、在学生父母、卒業生、市民など様々な利用者の受入れが予定されています。

■ キャンパス環境の緑化等

学園創立一〇〇周年事業の六つの柱の一つにキャンパス環境の緑化等の整備が掲げられています。学園敷地内には、幹周リ十cmを超える樹木が二千七百本あり、良好な教育・研究環境を維持するため、樹木の剪定や樹勢回復措置などを適時実施しています。今後、武蔵野市が進める緑化政策にも応えて、さらに緑溢れるキャンパス作りを進めていく予定です。また、ラグビー場、野球場、サッカー場、テニスコート、馬場などからなる学園北側の総合グラウンドには最新の散水設備などを設置して、近隣への砂塵飛散防止に努めています。なかでもサッカー場は、二〇〇〇年に全面人工芝に切り替え、近隣からの防塵要請により適切に配慮することができるようになりました。

■ シックハウス検査結果(抜粋)

(単位:μg/m³)

測定項目	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	スチレン	パラジクロロベンゼン	エチルベンゼン
1F 研究科長室(110号室)	10	<10	<10	<10	<10	<10
2F 院生研究室(203号室)	20	<10	<10	<10	<10	<10
2F 院生研究室(210号室)	20	<10	<10	<10	<10	<10
厚生労働省指針値	100	260	870	220	240	3800

■ シックハウスへの対応

大学再開発計画による校舎建築の進行にともない、身体障害者の施設利用を当然のこととするキャンパス・バリアフリー対策がとられるようになりました。当初は、建物入口へのスロープの設置などが行われ、専用トイレや昇降機の設置がこれに続きました。現在、スロープの設置等は十件、専用トイレの設置等は十二件となっており、主な建物の多くが介助者の助力なしに利用できるようになっています。

■ バリアフリーへの取り組み

身体障害者の施設利用を当然のこととするキャンパス・バリアフリー対策がとられるようになりました。当初は、建物入口へのスロープの設置などが行われ、専用トイレや昇降機の設置がこれに続きました。現在、スロープの設置等は十件、専用トイレの設置等は十二件となっており、主な建物の多くが介助者の助力なしに利用できるようになっています。

改正建築基準法によるシックハウス規制が二〇〇三年から始まり、シックハウス検査は、新素材建材や接着剤・塗装剤などから引き起こされる体調不良の原因物質とされる揮発性有機化合物であるホルムアルデヒドなどの室内空気中の含有率を測定することにより、厚生労働省の法定基準値との比較を行うもので

「AA⁻」の格付けを再取得

学校法人成蹊学園は、昨年度株式会社格付投資情報センター(R&I)より格付けを取得しましたが、このたび昨年度と同じ評価である「AA⁻」(ダブルAマイナス)の評価を維持更新しました。

この格付けとは、事業体の財務の健全性を客観的に表す指標であり、企業が社債等により資金を外部から調達する際に、財務状況の第三者評価として公開されます。2003年2月に法政大学が格付けを取得して以降、早稲田大学、慶応大学をはじめ多くの学校法人が格付けを取得し、公表しています。2004年11月末現在で、17の学校法人が取得しており、今後更に増加すると言われています。事業会社に比較して学校法人の財務の健全性は、これまでのところ高い評価を得ておりますが、格付けの取得・公表は任意であり、私立学校法人全体の財務状況を反映している訳ではなく、各学校法人個々の評価になります。格付けランクは格付評価会社により異なりますが、本学が取得したR&Iでは、21段階あり、最高位が「AAA」で「AA⁻」は上位から4番目に位置する高い評価となっています。

学校法人が格付けを取得する理由は様々ですが、各学校共通の理由としては、財務の状況を第三者に客観的に評価してもらい経営に活かすことが挙げられます。私立学校を取り巻く経営環境が非常に厳しくなり、学生、保護者、受験生、卒業生、関係諸官庁等いわゆるステークホルダーの学校の財務に寄せる関心が年々高まっていますが、財務の健全性、透明性を積極的に開示し、安心して勉学に励んでもらえる学校であることを示すことによりステークホルダーから

の信頼を得ていくことも学校法人の重要な責務の一つと言えます。

今回、昨年度に引き続き「AA⁻」の評価を維持できたことにより、一定の目的が果たせたのではないかと思います。私立学校の経営環境が厳しくなる中、本学も創立100周年記念事業の実施に向けて一時的にかなり収支が厳しくなることが予想されますが、高い評価を維持し、更により良き学園を目指すため健全な財務運営を心がけていきたいと考えています。

R&Iによる格付け評価のポイントは、次のとおりです。

1. 経済学部の学科統合、工学部の理工学部への再編といった学生の視点から見て優れた教育を提供することを最優先する改革や国際教育センターの設立等の取り組みが、継続的な志願者確保、人格主義、個性尊重の教育の実現に寄与するものと期待する。
2. 情報図書館の新設、小中高の施設開発等2012年の創立100周年に向けた「新・成蹊創造プラン」が進行しているが、必要資金を計画的に積上げており、これだけの投資を自己資金で実行する点は評価できる。
3. 大学授業への高校生の参加や内部進学者の増加など大学と成蹊高校との関係が深まりつつあり、ワンキャンパスでの一貫教育が可能なインフラを持っているだけに、その強みを最大限に生かす努力が引き続き求められよう。

格付け	格付けを取得している学校法人	民間企業等
AAA		トヨタ自動車、武田薬品工業、デンソー、日本放送協会
AA ⁺	早稲田大学、慶應義塾、同志社	東日本旅客鉄道、東京海上日動火災、キャノン、東京電力
AA	日本大学	本田技研工業、ソニー、電通、日本生命、三井住友海上火災
AA ⁻	成蹊学園、法政大学、千葉工業大学、福岡大学、東京理科大学 [※] 、青山学院 [※] 、京都薬科大学	東京三菱銀行、三菱重工業、三菱商事、三井物産、日本郵船積水ハウス、日立製作所、フジテレビジョン、ブリジストン
A ⁺	大阪経済大学、修道学園、共立女子学園 [※]	東レ、住友商事、野村証券、明治安田生命、オリックス
A	東京経済大学、追手門学院、武蔵野女子学院	住友林業、東芝、三菱電機、富士通、ヤマハ、三井住友銀行
A ⁻		鹿島建設、清水建設、日産自動車、大和証券、みずほ銀行
BBB ⁺		大成建設、三井金属鉱業、伊藤ハム、ニコン、神戸製鋼所
BBB		全日本空輸、メルシャン、日本ビクター、住友金属工業
BBB ⁻		日本航空、東武鉄道、コジマ、サッポロホールディングス
以下BB ⁺ ……C(全部で21段階)		

※東京理科大学、青山学院はスタンダード&プアーズ社の格付け、共立女子学園は日本格付研究所の格付けです。

(2004年11月30日現在)

桃李の人々

第4回

2005年2月の完成に向けて、

ビデオ評伝シリーズ『学問と情熱』第32巻『中村春二 大正自由教育の旗手』（紀伊國屋書店）の制作が急ピッチで進められています。

そのナレーションを担当されたのが、小・中学校時代を成蹊学園で過ごされた女優の長山藍子さんです。

「今回のナレーションを通して、私は春二先生の子どもの一人なのだと改めて感じました」と語る長山さんに、

成蹊学園時代の思い出を語っていただきました。



長山 藍子

Aiko Nagayama

女優

私の女優という仕事が始まる きっかけになったのは 成蹊学園の先生方との 出会いからだったと思っています

**読書ノート、日記、
園芸の授業などを通して
情操を教育してもらえた**

——まず、成蹊学園時代の思い出からお聞かせ下さい。

長山 私は、いろいろな人との触れあいの中で育ってきたと、しみじみ思います。そして、私の女優という仕事が始まるきっかけになったのは、成蹊学園の先生方との出会いからだったと思っています。

たとえば、小学校の担任だった谷川澄雄先生には、文学的な、あるいは情動的な教育をしていただきました。もともと私は本を読むのが大好きな子でした。そんな私に、定期的に読書ノートを書くように指導され、谷川先生や図書館の堀内輝三先生が、その読後感に批評を書いて下さっていました。

——当時、どんな本を読んでいたんですか。

長山 よく読んだのはラフカディオ・ハーンや、『ああ無情』『十五年漂流記』などの少年少女世界文学全集です。漱石の『我輩は猫である』を読んだのも小学生の頃です。

放課後も、小学校校舎の一番奥にあった図書館に通いつめて、閉館時間の鐘が鳴るまで本に熱中することも少なくありませんでした。今でも、薄暮の中を図書館から桜並木をつたって一人で帰る情景を思い出します。もう誰もいなくなった校庭。桜並木のコンクリートの上に、私の歩く靴音がコツ、コツと響く。その響きはつらいことほもう忘れなさいといっているようでもあり、また明日が来ると励ましてくれているようでもあり……。そんな思いを詩にしました。谷川先生はその詩をずっと保管して下さいされており、数年前に、成蹊小学校に講演に訪れた際に、久しぶりに読みました。とても懐かしかったですね。

——文章を書くことも好きだった

のですか。

長山 そうですね。成蹊小学校では毎日の日記をつけることが宿題のようになっていました。新聞記者だった父からは、新聞の原稿作成用のわら半紙を与えられ、その日記の下書きを書いておきなさいと。忙しくて私が眠った後に帰宅することも多い父でしたが、どんなに遅く帰ってきても、私がおかしくなると朱筆を入れておいてくれました。私は朝早起に起きて、その直しを見ながら、学校に出る清書をするのが日課になっていました。父としては、学校の宿題をサボートするということよりも、新聞記者として、自分の娘にも書くことの基本を教えたかったのかもしれない。

——日記にはどんなことを書いていらっしゃったのですか。

長山 家の庭にたくさん草花を植えていましたから、その観察日記のよ

うな感じで、書くことには困りませんでした。クチナシに蕾がついたとか、ブドウの実がなったとか……。また、犬、猫、小鳥、アヒル、フクロウなど、様々な動物も飼っていました。両親は、生物を育てて、その生死に立ち会うことで、生きていることの大切さを教えたかったのだと思います。

それは成蹊学園の教育にも通じるところがある気がします。よく植物などの観察をしながら、花の蕾をじっといとおしんで見るような、そうした情感、情緒を教育していただきました。

——そのほか、成蹊学園の教育で印象に残っていることはありますか。

長山 園芸の授業が思い出深いですね。田植豊実先生の指導で、雑草の時にミミズに驚いたり(笑)、当時はまだ水洗便所ではありませんから、畑の肥料にするために、肥溜から糞尿を汲んで撒いたりしました。

長山 藍子(ながやま・あいこ)

同盟通信記者だった父親の赴任地、中国で生まれる。終戦とともに引き揚げ、東京に住む。成蹊小学校・中学校を経て、静岡県立三島北高校を卒業。俳優座養成所に第12期生として入る。卒業後、劇団『新人会』に参加し、劇団『朋友』に至る。テレビドラマ『女と味噌汁』『旅路』などで注目を集め、数多くのテレビ・映画・舞台に出演。平成11年『わがババわがまま奮闘記』で文化庁芸術祭大賞を受賞。

日本橋三越劇場3月公演 向田邦子原作『胡桃の部屋』(3/8~21)に出演。



転校した後も私を気づかい 女優への道を開いてくれた

——小学校の時は演劇はやっていらっ
しやらなかったのですか。

それから夏の学校の遠泳もよく思
い出します。私は三キロ泳いだので
が、安全のために先生方の乗った船が
ついてきてくれていて、途中で苦しく
なると、氷砂糖がもらえます。ところ
が、その氷砂糖が塩水と混ざってしま
い、しょっぱくてむせたことや、泳ぎき
つて、浜辺にあがった時に地面が揺れ
たように感じたことなどを覚えてい
ます。

女優という仕事は「体力勝負」の側
面もあります。これまで丈夫に続け
てこられたのは、自宅の保谷から学校
まで自転車通学していたことと、こ
うした成蹊学園の教育で体を鍛えられ
たおかげだと感謝しています。

長山 小学校四年生の学芸会で『泣
いた赤鬼』に出ました。私は村人の役
で、鬼を演じたのは現在大正製薬社
長の上原明さんです。六年生の学芸
会では、トルストイ作『人は何で生き
るか』で、靴屋のおかみさんのマトリョ
ーナの役をやりました。

——それが女優への第一歩というこ
とでしょうか。

長山 いえいえ、まだそんな気持ち
はありません(笑)。小学校の文集に「私

が今、一番なりたいと思っているのは
芸術家だ。芸術家といっても、舞台と
か、声楽とか、小説などの方面の人だ」
——と書いていたようですが、それは
幼い夢にすぎなかったと思います。

とはいえ、やはり興味は抱いていた
のでしょ。中学校で演劇部に入り
ました。指導をして下さったのが松田
満夫先生です。部員の中には串田和
美さんや、後に俳優座養成所の同期
生になる山本圭さん、東野英心さん
達がいまして。

——中学三年生の時に転校されたの
ですね。

長山 ええ、家の事情で転校して、
静岡県の高校に入学しました。けれ
ども、しばらく熱海に住んでいた時に
演劇部の仲間が遊びにきたり、手紙
や電話をくれたりと、交流は続いてい
ました。

とてもありがたかったのは、私が転
校してからも、松田先生が折りにふ
れては、お芝居や芸術に関するお便
りを下さり、それに触れる機会を得
続けることができたことです。そして、
高校二年生の終わり頃に「もし君が
まだ将来の方針を決めていないのなら
ば、俳優座養成所というのがあるんだ
よ」と、願書を送って下さったのです。
松田先生からこのお便りをいただく
まで、私には女優になろうという明
確な意志はありませんでした。私は
のんびりしているというか、なかなか
自分で飛び立つことはしないところが
あります。もしかするとそれは成蹊
学園の卒業生に共通した気質のよう
な気がします(笑)、いずれにしても、

松田先生との出会いがなければ、女
優・長山藍子は誕生していなかったか
もしれません。それにしても普通な
らば、もう転校してしまつて、関係の
ない生徒であるはずなのに、松田先生
はずっと私のことを気にかけて下さつ
ていたわけです。先ほど申し上げたよ
うに、谷川先生も私の小学校時代の
詩や文集を大切に保管して下さい
ました。そうした成蹊学園の先生方
の温かさが、私を支えて下さっていた
のだと感じています。

——そして、見事に俳優座養成所に
合格されたわけですね。

長山 高校二年生の春休みに受験し
たのですが、試験場に行ってみると周
りは俳優志望という目標が明確な雰
囲気の人ばかり。真っ黒のタイツを用
意してきていて、特別な訓練を積んで
きたと思われるような人が多く、と
ても合格は無理だとあきらめていま
した。ところが、二次試験までクリア
して、最終面接に残ることができま
した。実は、本当は高校二年生の受
験は認められていませんでした。でも、
私は面接で「高校二年生だからとか、
東京に住んでいないからという理由で
不合格になるのは嫌です」と訴えま
した。面接官の方からは「将来、俳優
として活動していくためにも勉強は
必要だ。卒業してから来なさい」と諭
されました。それで高校に戻るこ
とにしたのですが、俳優座からはその一
年後、卒業前に入所式の案内が届き
ました。私のことをちゃんと忘れない
でいてくれたんだと分かり、とてもう
れしかったですね。

観客に「元気」を感じてもらうことが女優の使命

—その後、女優として活躍されてこられたわけですが、どのような女優でありたいと考えていらっしゃるのか、ポリシーをお聞かせ下さい。

長山 私は、女優とは「元気がない人に元気になってもらう仕事」だと思っています。作品を、そして私たちの演技を見ていただいて、わくわくしたり、笑ったり、泣いたり……そういう心の中の喜怒哀楽、感情の細胞を揺り動かすことが使命なのです。私はそうした感情の動きが「元気」ということなのだと思っています。そして、私たち表現者の体を通して元気を感ずてもらうだけでなく、私たち自身も、お客様からの反応で、感情の細胞を揺り動かさせてもらえる仕事だと考えています。

その意味で、私が最も大切にしているのが舞台です。俳優座養成所を卒業後、劇団「新入会」に入りました。現在は「朋友」という劇団名になっていますが、常に舞台女優としての活動を中心に置いてきたつもりです。

—それは、舞台の方が観客との距離が近いからということでしょうか。

長山 そうですね。お客様と生のキヤッチボールがダイレクトにできるところに魅力を感じています。舞台では自分のすべてをさらしている感覚がありますが……よく思うのは、私の選んだ俳優の仕事は「恥の譜」だということです。恥をさらして学び、なおかつ、そ

れを喜びとして生きていきたい。そういう女優でありたいと思っています。

—素人考えでは、演じるということとは、とても難しいことのように思えるのですが……。

長山 高校を卒業して、女優の道を歩み始めた時は、これで宿題やテストに苦しむことはない、解放感でいっぱいでした(笑)。けれども、どんな仕事でも同じかもしれません、女優の仕事も宿題やテストばかりです。セリフを覚えることも宿題ですし、単に覚えるだけでなく、セリフの本当の意味を理解して、自分の中に肉付けしていかなければなりません。いろんな役を演じるには、付随して知らなければならぬこともたくさんあります。それは社会の動きかもしれないし、人々の心かもしれない。常に宿題が課されているのです。私はのんびりした性格ですが、そういう世界に身を置くことで、自分を怠けさせないです。宿題の多い人生を選んだわけですが、それを喜びに感じられればよいなと思っています。

春二先生の教えが私の心の中に息づいている

—長山さんは、二〇〇五年二月に



「中村春二 大正自由教育の旗手」のナレーション収録中の長山さん

完成予定のビデオ評伝シリーズ「中村春二 大正自由教育の旗手」(紀伊國屋書店)のナレーションをされています。ナレーションを通して、中村春二先生の考え方や生き方に対して印象に残されたことはありますか。

長山 今回、ナレーションをやらせていただくことになって、改めていくつか春二先生の本を読みました。そこで感じたことは「真我」の精神が、私の心の中に息づいているということです。もっとも、こんな言い方が適當なのか自信はありませんが、そこが私の良さでもあるとともに、弱さでもあると感じることもあります。生き馬の目を抜くようなこの世界では、もっと自我を前面に押し出した方がいいのかもしれない。よく先輩

の方に「あなたみたいにはんやりしたタイプの人、よく芸能界でここまで生きてこれたわね」とからかわれることもあります(笑)。けれども、私は人を押しつけてでもという生き方はできそうにありません。人としては、私はそれだと思っていますし、やはり私は春二先生の子どもの一人なのだと思っています。

—中村春二先生の理念、成蹊学園の教えがしみついていらっしゃるわけですね。

長山 最近、私は日本人の文化としての思想、宗教といったものに興味を持つようになってきました。そんな気持ちで、春二先生の本を読むと、すごく不思議な、導かれるような感覚になります。先生の考えを、私なりに吸収できる年齢、段階になって、春二先生にもう一度出会うことができたら、先生の教えを再認識できた気がしています。

—中村春二先生の言葉で、とくに気に入っていらっしゃる言葉はありますか。

長山 「桃李不言 下自成蹊」ですね。桃や李は、ものを言うわけではないけれど、美しい花やおいしい実があるから、自然と人がやってきて、そこに蹊(こみち)ができる。私も、微力ながら、女優として、皆がふっと感じ入ってくれるような花をもって、実をならせるような努力をしてきたつもりです。論理としてというより、私の思いの中に息づいている言葉です。

今の時代、いろんな罰則や取り決め事がとても増えています。でも、子どもたちにとつて、本当に大切なのは春二先生のような人間教育なのではないか。先生が語られたこと、さらには実践されてきたことの中に、とても大事なものがあると気がしています。「中村春二 大正自由教育の旗手」のビデオを、できるだけたくさんの方々に見てもらい、そうした春二先生の教えに触れていただきたいと思います。

(インタビュアー/広報課 伊藤昌弘)

二〇〇四年度の就職内定状況

【採用・就職活動の概況】

今年度の採用状況は、大学新卒者の内定人数が三年ぶりに拡大しました。年度当初から、多くの企業が二〇〇五年三月卒業予定者の採用予定数を、昨年度の採用実績に比べ大幅に拡大する計画を立てていることが報じられていました。この要因としては、企業の業績回復に伴う営業力・技術力の強化、少子化の進展や団塊の世代の大量定年退職を見据えた人材の確保が急務となったことが挙げられます。

このような状況の下、日本経済新聞社がまとめた「二〇〇五年度採用状況調査」によると、定期採用の大卒内定人数は今年実績比一一・一％増と三年ぶりに増加しました。

一方、文部科学省と厚生労働省の調査によれば、二〇〇五年三月卒業予定の大学生の就職内定率は十月一日現在、六一・三％で前年同期を一・一ポイント上回り、また、関東地区は六七・五％と前年を〇・二ポイント上回ったとの結果が発表されました。各企業の採用枠の拡大がわずかながら反映されている結果となっています。これに対し成蹊大学の同時期の内定率は、八一％とこの数年で最も低かった前年を約一三ポイント上回り、関東地区の内定率と比べ、かなり高い数字となっています。

【成蹊大学の就職内定状況】

成蹊大学四学部と大学院を合わせた就

今年の採用・就職活動の大きな特徴は、日本経団連の採用に関する倫理憲章に賛同した企業六三〇社の協同宣言により、採用試験の開始時期を遅らす企業が増加し、早期化に一応の歯止めがかかったことです。「三年生の時点で内定を出さない」との認識が産業界で定着したこともあり、三月の内定が減少し、四年生になった直後の四月・五月の割合が増加しました。その影響で、採用試験の時期が集中し、学生は訪問企業を絞り込む必要がありました。その一方で、選考途上及び内々定後の辞退者が増えるなど、倫理憲章は学生・企業に少なからず影響を及ぼしました。

また、「採用予定人数の確保より、学生の質を優先させる」という企業の厳選採用の傾向は依然として変わっており、コア人材を戦略的に採用しようという考え方が主流を占めています。しかしながら、今年度は、前述したように業績が回復し既存事業の拡大、営業部門の増強等のため採用意欲が高くなっており、採用期間を延長するなどして、優秀な人材を採用予定人数まで確保しようとする企業が昨年に比べ多く見受けられました。

職希望者は、一五四一名(内工学研究科六四名)です。届出のあったうちから二名以上が内定した企業を別表に掲げました。今年度の内定状況の特徴は次のとおりです。

一つは、近年文系女子学生の主要な就職先となってきたメガバンクが、不良債権処理に目処をつけ、リテール(個人向け小口金融)分野での営業を強化すべく、東京三菱銀行が約三倍、みずほフィナンシャルグループが約二・三倍と採用枠を拡大したこともあって、信託銀行を合わせた八行への内定者数は一〇六名と、前年の約一・八倍に増加しました。また、金融を志望する学生のうち銀行には男子二十七名、女子一〇五名、生・損保には男子二十三名、女子六十二名が内定しました。金融業界全体では男子七十五名、女子二二〇名が内定し、金融業界全体の内定者数は前年より三割増えました。

二つは、文系男子学生の製造業界への内定者が約一〇％増加しました。特に近年、文系男子学生に縁のなかった、横浜ゴム、小松製作所、呉羽化学工業、日産化学工業、オリンパス、日清紡績、日本金属、ケンウッド、ウシオ電機、三菱アルミニウム、カルソニックカンセイ、カヤバ工業、山武などの業界屈指の優良企業にも内定しました。

三つは、難関とされている出版・放送業界において、講談社、日本放送協会、フジテレビジョンにそれぞれ二名ずつの内定者がありました。

四つは、工学部・工学研究科の学生も、資生堂、キャン、東芝、日立製作所、三菱電機、東日本旅客鉄道などの有力企業に学生の動向を把握しやすいことから、企業からの依頼・問い合わせ等にも迅速に対応することができ、それが成蹊大学の強みとなつています。

この数年、大学生の職業観・就業意識の低下が叫ばれていますが、成蹊大学においても、教育の更なる充実を図り、学生一人ひとりの能力を高め、社会が求める人材を

内定していますが、特に今年度は、自動車業界の内定者が多く、本田技研工業、トヨタ自動車、マツダ、いすゞ自動車に複数名が内定しました。

【成蹊大学の就職支援】

就職活動の支援・指導は、学生個々の事情や個性の違いにより、一律に対応することができません。学生に合った相談を行うため、成蹊大学就職部では、長年にわたり学部・学科ごとに担当者を配置して、内定を勝ち取るまで一貫した相談ができる体制をとっています。

インターネットの普及により、学生達は、多くの情報をインターネットから得ることが出来るようになりましたが、情報が氾濫し何が有用な情報が判断することが難しくなっている現状において、フェイス・トゥー・フェイスの個別相談体制は、学生への適切な情報提供をする上で、ますます重要なものとなっております。

一方、企業においても、採用業務の効率化を図る上で、インターネットを利用することは有効な手段となっておりますが、その利便性から、志望意欲の低い学生からの申込や身勝手な内定辞退者の増加といった弊害が出てきており、本気で入社を希望する学生だけを集めて選考したい、という声が人事担当者からしばしば聞かれます。

成蹊大学就職部では、十月から十一月の二ヶ月間に百社ほど企業訪問を行い、情報交換をしておりますが、企業の人事担当者から「会社のことをよく知ってもらいたいので、学生たちとコミュニケーションをとる機会がただただないか」との要望が急増しています。このことから、インターネットの弊害のリスクを避けようとする姿勢がうかがえます。

このように、優秀な人材を確保するため、多くの企業はインターネットに依存した採用から、大学との関係強化を目指すようになっており、大学の就職支援への対応が、企

(就職部)

内定届出人数別企業一覧

(2004年11月15日現在/内定者2名以上)

企業名	企業計 (内女子)	文系 (内女子)	工学部 (内女子)	工学部(院) (内女子)	企業名	企業計 (内女子)	文系 (内女子)	工学部 (内女子)	工学部(院) (内女子)
(株)みずほ銀行	39(38)	39(38)	()	()	(株)東京都市銀行	3()	3()	()	()
(株)東京三菱銀行	27(24)	27(24)	()	()	東洋製罐(株)	3()	3()	()	()
東京海上日動火災保険(株)	18(17)	18(17)	()	()	日鐵商事(株)	3(3)	3(3)	()	()
(株)ユーエフジェイ銀行	13(9)	13(9)	()	()	日本紙パルプ商事(株)	3(2)	3(2)	()	()
日本興亜損害保険(株)	10(5)	10(5)	()	()	阪和興業(株)	3(3)	3(3)	()	()
ソフトバンクBB(株)	9(4)	9(4)	()	()	マツダ(株)	3()	1()	1()	1()
三菱信託銀行(株)	9(9)	9(9)	()	()	三井不動産販売(株)	3(3)	3(3)	()	()
旭化成ホームズ(株)	8(4)	8(4)	()	()	(株)武蔵野銀行	3(2)	3(2)	()	()
日本生命保険(相)	8(8)	8(8)	()	()	トヨタ自動車(株)	3()	1()	1()	1()
三井住友海上火災保険(株)	8(6)	8(6)	()	()	(株)日産テクノ	3()	()	3()	()
積水ハウス(株)	7(4)	6(4)	1()	()	青山商事(株)	2()	2()	()	()
(株)三井住友銀行	7(5)	7(5)	()	()	岩谷産業(株)	2(1)	1(1)	1()	()
東京電力(株)	7(1)	()	6(1)	1()	いすゞ自動車(株)	2()	()	1()	1()
(株)三越	6(5)	6(5)	()	()	ウシオ電機(株)	2(1)	2(1)	()	()
全日本空輸(株)	6(5)	6(5)	1()	()	オリンパス(株)	2(1)	1()	1(1)	()
共栄火災海上保険(株)	5(4)	5(4)	()	()	花王販売(株)	2()	1()	1()	()
(株)ジェイティービー	5(4)	5(4)	()	()	(株)かねまつ	2(1)	2(1)	()	()
東銀リース(株)	5(5)	5(5)	()	()	カルソニックカンセイ(株)	2()	1()	()	1()
NOVAグループ	5(5)	5(5)	()	()	(株)河田	2(2)	2(2)	()	()
野村證券(株)	5(4)	5(4)	()	()	キャノン(株)	2(1)	1(1)	()	1()
みずほ信託銀行(株)	5(5)	5(5)	()	()	警視庁警察官	2()	2()	()	()
オリックス(株)	4(2)	4(2)	()	()	(株)ケンウッド	2(1)	2(1)	()	()
オリックス・オートリース(株)	4(2)	4(2)	()	()	(株)小糸製作所	2()	1()	1()	()
スタンレー電気(株)	4(1)	3(1)	1()	()	(株)講談社	2(1)	2(1)	()	()
(株)損害保険ジャパン	4(2)	4(2)	()	()	コーンズドットウェル(株)	2(2)	2(2)	()	()
第一生命保険(相)	4(3)	4(3)	()	()	JFE商事(株)	2(2)	2(2)	()	()
大王製紙(株)	4()	3()	1()	()	(株)ジェーシーピー	2(2)	2(2)	()	()
太陽生命保険(株)	4(3)	4(3)	()	()	スズキ(株)	2()	()	1()	1()
(株)大和証券グループ本社	4(3)	4(3)	()	()	スターツ(株)	2(2)	2(2)	()	()
中央三井信託銀行(株)	4(1)	4(1)	()	()	全国信用協同組合連合会	2()	2()	()	()
(株)トプコン	4()	3()	1()	()	損保ジャパンひまわり生命保険(株)	2(1)	2(1)	()	()
東日本旅客鉄道(株)	4(1)	3(1)	1()	()	大日精化工業(株)	2()	2()	()	()
本田技研工業(株)	4()	1()	1()	2()	ダイヤモンドコンピュータサービス(株)	2(2)	2(2)	()	()
三井リース事業(株)	4(4)	4(4)	()	()	ダイワボウ情報システム(株)	2(2)	2(2)	()	()
三菱電機ビルテクノサービス(株)	4()	3()	1()	()	(株)高島屋	2()	1()	1()	()
(株)リーチョコトカムパニー	4(4)	4(4)	()	()	(株)中央住宅	2()	2()	()	()
(株)八千代銀行	4(2)	4(2)	()	()	中央出版(株)	2(2)	2(2)	()	()
住商情報システム(株)	4(1)	2(1)	2()	()	(株)ディーシーカード	2(2)	2(2)	()	()
大日本印刷(株)	4(1)	2(1)	()	2()	(株)東洋製作所	2()	2()	()	()
横河電機(株)	4(1)	1(1)	2()	1()	藤和不動産(株)	2(2)	2(2)	()	()
凸版印刷(株)	4()	1()	()	3()	トラスコ中山(株)	2(1)	2(1)	()	()
明治安田生命保険(相)	4(2)	4(2)	()	()	日本製粉(株)	2(1)	2(1)	()	()
あいおい損害保険(株)	3(3)	3(3)	()	()	日本放送協会	2()	2()	()	()
国家公務員	3()	1()	2()	()	日本たばこ産業(株)	2()	2()	()	()
住友信託銀行(株)	3(3)	3(3)	()	()	日本通運(株)	2()	2()	()	()
住友不動産販売(株)	3()	3()	()	()	ノバルティスファーマ(株)	2(2)	()	2(2)	()
住友林業(株)	3(2)	3(2)	()	()	東日本電信電話(株)	2()	()	()	2()
全日本食品(株)	3(2)	3(2)	()	()	日野自動車(株)	2()	()	()	2()
第一生命情報システム(株)	3(1)	1(1)	2()	()	(株)フジテレビジョン	2(1)	2(1)	()	()
大同生命保険(株)	3(3)	3(3)	()	()	みずほ証券(株)	2(2)	2(2)	()	()
大和ハウス工業(株)	3()	3()	()	()	三井住友リース(株)	2(1)	2(1)	()	()
(株)竹中工務店	3(1)	3(1)	()	()	三菱自動車工業(株)	2()	1()	()	()
多摩中央信用金庫	3()	3()	()	()	(株)守谷商会	2(1)	2(1)	()	()
(株)千葉銀行	3()	3()	()	()	(株)ヤマタネ	2()	2()	()	()
THK(株)	3(1)	2(1)	1()	()	(株)菱食	2()	2()	()	()
東京ゼロックス(株)	3(1)	2(1)	1()	()	(株)和光	2(2)	2(2)	()	()

文学部で朝日新聞社との提携講座を開講

学術・文化・産業ネットワーク多摩の大学間連携事業として昨年スタートした朝日新聞社との提携講座は、今年度、本学が開設大学となり、十三大学の参加のもと、「文学部総合講義A」として後期に開講されています。

メディアを取り巻く環境が大きく変化している現在、新聞報道が社会に与える影響や、さまざまなメディアの中での新聞の位置付けをあらためて検討することが重要な課題になっています。本講座はこのような共通認識にもとづき設置されたもので、現場の記者や編集委員、論説委員など、第一線で活躍されている朝日新聞社の方々を講師として毎回迎えながら講義を進めています。特に今年度は、参院選、アメリカ大統領選、球界再編問題といった時



事的な話題を取り上げつつ、新聞というメディアの特徴や問題点、現状と未来について考察することを講義の柱としています。会場となっている本学では、熱心に講義を受け、質問する学生の姿が多く見られます。また、参加大学のうち八大学に対しては、インターネットを利用して講義風景をリアルタイムで配信する遠隔授業を実施しています。他大学の教室で受講している学生にも、講義中に電子メールによる質問を受け付け、その場で講師が回答したり、携帯電話を利用して回答したアンケートの集計結果をスクリーンに映し出し、その結果に講師がコメントを加えたりして、双方向性の高い授業が行われています。

※多摩地域にある五十の大学・短大のほか、自治体等公共団体、企業、NPO等が参加する産公学民連携のコンソーシアム

文学部に国際社会コース開設

文学部に開設された「国際社会コース」が二〇〇五年度からスタートします。このコースは国際化する社会についての知識や洞察力、英語によるコミュニケーション能力および情報発信力を身につけ、卒業後各種の国際的業務での活躍が期待される学生を養成するために、必要かつ十分な教育を実施することを目的とし

ています。国際社会コースに所属する学生は文学部四学科すべてから希望者を募ります。学生は自分の所属する学科所定のカリキュラムに加えて、二年次、三年次にコース専用で開講される必修科目を計十六単位履修します。

そのうち「国際英語セミナー」(週二回)は、セミナー形式の英語クラスで、授業はすべて英語で行われます。同じく必修の「国際社会セミナー」と関連つけたテーマについて、英語を介して理解し、意見を英語で表現することを通して、英語能力を養成するクラスです。クラスでは、英語の四技能(読む、聞く、書く、話す)を総合的に学びますが、とくに発信能力養成に重点をおき、テーマに関して学んだ知識や表現を使って、自分の意見を書く力や、それを効果的にプレゼンテーションする能力を向上させ、ディベートの方法なども身につけます。

「国際社会セミナー」(週一回)は、国際化する社会において十分な対応ができるように、学期ごとに(日本を考える)「現代の世界」(文化と人間)「地球を考える」というテーマについて、おもに日本人教員の指導によるセミナー形式で行われます。このほかコース選択科目(在学中に十六単位以上必修)として、各学科の専門科目のうち、国際社会を理解するために有益な文

化、言語、社会等の幅広い科目が設定されています。また、「国際教育センター」が提供する科目、他大学での単位互換科目などのうち、国際社会コースの内容にふさわしいと認められた科目は、コース選択科目として単位に加算されます。

国際社会コースの履修者の定員は一学年二十五名で、志望者多数の場合は学内で行われるTOEFL iBT試験のスコアおよび一年終了時におけるGPAによって決定されます。コース一周年となる現一年生の志望者は五十一名でした。なお、コースのカリキュラムを修了した学生には、卒業時に「国際社会コース修了証」が授与されます。

セクシアル・ハラスメントに関する研修会を開催

成蹊学園セクシアル・ハラスメント人権委員会では、十月六日に学生を対象としたセクシアル・ハラスメントに関する研修会を開催しました。当日は、体育会・文化会・届出団体の各代表者および一般学生から約二二〇名の参加がありました。今回の研修会は、まず最初に「フォーラム・シアター・フォー・エンパワメント」と本学の劇団「田想者」による短い劇が上演され、その後参加者が、劇中の登場人物に成り代わって意見を述べたり、



または実際に演じてみるという「参加型演劇」を取り入れたユニークな内容でした。このような新しいタイプの研修会でしたが、終始闊達な意見が飛び交い、また積極的に舞台上で演じる参加者もあり、会場を大いに賑わせました。本委員会では、セクシアル・ハラスメントの防止、相談・救済活動の一環として、今後も引き続き全学的な研修会を実施する予定ですので、是非皆さんのご意見・ご要望をお寄せください。また、相談者がより安心して相談できる体制を目指して、四月から、専門相談員を置くなど新たな取り組みもスタートします。詳細につきましては、リーフレット等でお知らせしますが、その他、本委員会の活動につきましては、ホームページでもお知らせいたしますので、是非ご覧ください。

URL <http://www.seikei.ac.jp/gakuen/sekunaraindex.html>

四大学運動競技大会

五十五回四大学運動競技大会(四大戦)が、十月二十二日から二十四日までの三日間、武蔵大学にて開催されました。四大戦は、旧制高等学校時代より、様々な分野で交流のある成蹊大学、武蔵大学、成城大学、学習院大学がスポーツを通して親睦を深める目的で、毎年開催している伝統ある行事です。一九五〇年の第一回大会から数えて、今年で五十五回目を迎えました。本大会は、体育会各部に所属する学生による「正式種目」、一般の学生が誰でも好きな種目に



参加できる「一般種目」、教職員による「教職員種目」から構成され、「正式種目」と「一般種目」の合計得点で競われます。本学は、総合優勝を果たした昨年度大会と同様に健闘し、総合第二位の成績を収めました。また、演武会や応援エールの交換なども大会を盛り上げました。大会期間中は天候にも恵まれ、気持ちのいい秋晴れの下、各会場で熱戦が繰り広げられました。それぞれをよきライバルとする四大学は、この四大戦を通じて、今大会のテーマでもある「絆」をより一層強めることとなりました。

健康講座を開催

生部(学生生活課・大学保健室)では、日頃より学生のみなさんが健康で楽しい学生生活を送ることができるよう、支援活動を行っています。その一環として、十一月一日に「健康講座」を開催しました。今回の講座では、正しい知識を持つことで、自分の身体を大切にすることはできず、周囲への思いやりや心遣いができるようになってほしい、という願いから「アルコール」、「タバコ」、「救命法普及」、「セクハラ」について取り上げました。また、スモーカーライザーという喫煙者の呼気中の一酸化炭素濃度を測定する機械の実演や、実際に参加者がアルコールパッチテストの体験をし、各自のアルコールに対する体質を知る機会なども設けました。希望する学生に対しては、アルコールパッチテストや禁煙方法、救命講習の相談などを随時、大学保健室(保健管理センター)で受け付け、禁煙支援のための情報提供や禁煙外来の紹介もしています。

今後よりよい大学を目指し、健康とハラスメント、救命法について学生と一緒に考え、行動していく支援活動を積極的に行っていきます。

理工学部開設 記念講演会のご案内

成蹊大学では、2005年4月の理工学部開設を記念して次のとおり2つの公開講演会を開催します。

タイトル: 「モノづくり企業から見た21世紀の日本の活路と大学の役割」

日時: 1月18日(火) 15時30分から17時
講師: 三菱重工業株式会社代表取締役社長 佃 和夫氏

会場: 大学四号館ホール
受講方法: どなたでも受講できます。申込みは不要ですので、直接会場にお越しください。

タイトル: 「やれば、できる。」

日時: 3月24日(木) 11時~12時(予定)
講師: ノーベル物理学賞受賞 小柴 昌俊氏
会場: 大学四号館ホール

受講方法: どなたでも受講できますが、抽選制とします。往復はがきに「3月講演会受講希望」と書き、「住所」「氏名」を明記のうえ2月15日(火)までに本学企画運営課までお送りください(必着)。返信用はがきには、あて名を記載してください。3月上旬に結果をお知らせします。当選はがき1枚で2名まで入場可能です。

新潟県中越地震 被災家庭への特別措置

新潟県中越地震により被害を受けたご家庭に対し、被災状況に応じて、二〇〇四年被保険者の減免、次年度以降の納付金の延納、奨学金の緊急貸与等の措置を実施することにいたしました。該当されるご家庭においては、学生生活課にまでご相談ください。

お問い合わせ先電話番号 〇四二二一三七三七七八

学位授与式について

二〇〇四年度成蹊大学学位授与式を次のとおり行います。日時 三月十九日(土)十時より 場所 大学体育館

式場が手狭なため、式場への入場は修了者・卒業生ご本人に限らせていただいております。このため、ご来校の際には、モニター放送により式の様子をご覧いただくこととなります。あらかじめご承知置きください。また、お申し込みは、大学四号館ホール他です。(お車での来校は遠慮願います。)

高校体育大会

一 学期始業式から十日目の九月十四、十五日の二日間は好天のもと高校の体育大会が実施されました。多様な目にとたつて学年別クラス対抗で好プレーが展開され、活気に溢れる二期の行事の幕開けとなりました。

蹊祭(中高文化祭)

中 高文化祭は十月二日、三日の二日間にあつて催されました。初日の二日は好天に恵まりましたが三日は朝から生憎の大雨。来客の来場への影響が心配されましたが、幸いにも大きな影響もなく昨年並の賑わいを見ることができました。中高文化部による大教室や理科棟・特別教室棟の発表・展示を中心に、中学の前庭では手作りの大きな舞台で、クラブによる演劇やヒップホップダンス、有志やクラスによるソーラン節に振り付けられた創作民舞が上演されました。また高校前庭ではイベントステージを中心にクラブによる吹奏楽、ヒップホップダンスに加えクラスや運動部、有志団体による合唱、和太鼓、チャリディング、創作民舞ヨソコイソーラン節、大道芸が観客の目を和ませ、周辺の緑日に加わつて祭りらしい雰囲気を醸し出していました。例年文化祭の最後を飾る打ち上げ花火が雨



のため中止になり、体育館で行われた後夜祭ではイベントステージ同様に多くのクラブやクラスによるステージ発表が行われ、多くの生徒が参加して大変な盛り上がりを見せました。また生徒会チャリテイバザーでは四万七〇六二円の売上があり、例年通り東京善意銀行に寄付されました。

中学校遠足

中 学校では、十月二十六日に秋の遠足が実施されました。しかしこの日は朝から霧雨、一年生の遠足地である秋川橋河川公園では張つてあるはずのテントが撤去され、その為飯盒炊飯が出来ずやむなく現地解散。二年生は翌年の修学旅行での班別行動の練習も兼ねて、事前に準備した自主計画に則り、しっとり湿った落ち着いた風情の鎌倉・北鎌倉をグループ行動で見学しました。三年生は奥多摩の氷川キャンプ場で、紅葉には未だ早い模様様に煙る緑濃く深い溪谷に抱かれて、屋根付屋外施設で飯盒炊飯に興じ、ひと味違った行事を味わってきました。

中学体育祭

本 来ならば文化祭の余韻が催されるはずであった中学体育祭は台風二十二号のため十二日に延期。しかしその予備日も雨のため中止、結局挙行されたのは十月三十日でした。この行事は一年生から三年までの縦割りのクラス対抗という形式で騎馬戦や、障害物競走、応援合戦等を競い合うものです。一学期から準備を進め楽しみにしていた体育祭でしたが、またしても予報より早い時間の雨に祟られ、プログラムを変更して担任担架リレー、

二人三脚障害物リレー、綱引き、大玉転がし、棒引きを行い、最後の女子の騎馬戦を終えたところで、やむなく打ち切りとしました。

中高 学校説明会

都 内の私立中高の学校説明会が目白押し。二学期を迎え、成蹊でも中高の受験生と保護者を対象に学校説明会を開催しました。十月十六日に催した中学校第二回学校説明会では、会場の大学四号館と五号館一〇二号室が受験生と保護者で満席になりました。高校の学校説明会は十一月六日と十三日に行われましたが、参加者数は若干昨年度を下回りました。この一連の説明会が終わり中高とも本格的に受験生を迎える体制を準備し二月の入試に備える事になります。

ネット小論文コンテスト

毎 日新聞社主催の「第四回インターネット」による高校生小論文コンテストに本校の村上綾那さんが佳作に入賞し、更に学校賞に選ばれた二校の中に成蹊高校が入りました。コンテストへのエントリーは、全国四十六都道府県及び外国(米・英・独・豪・カナダ・ハンガリーなど十二カ国)から六八七六八(七九五校)、応募総数は二三八八作品、予選通過は五十九作品(五十四人)でした。

文化部・運動部の活躍

こ の時期部活動は中高共にシーズンに入りましたが、文化部・運動部共に前半期の活躍に切れ目を感じさせない活躍ぶりが目立ちます。

【中学】

運動部

- 女子バレーボール部
 - * 東京都選手権大会
 - * 第九ブロック大会 ……第3位
 - * 東京都大会出場
 - * 東京都新人大会
 - * 第九ブロック大会 ……準優勝
 - * 東京都大会出場
- ラグビー部
 - * 東京都秋季大会 ……第4位
 - * 東日本大会 ……出場
- サッカー部
 - * 高円杯 全日本ユースサッカー(U-15) 選手権
 - * 都予選Aグループ ……3回戦
- 硬式テニス部
 - * 東京都新人選手権大会
 - * 第九ブロック大会
 - <個人の部>
 - (男子シングルス)
 - 優勝、準優勝はじめ
 - 9名 都大会出場
 - (男子ダブルス)
 - 優勝、準優勝はじめ
 - 5組 都大会出場
 - (女子シングルス)
 - 優勝、3位はじめ
 - 5名 都大会出場
 - (女子ダブルス)
 - 優勝はじめ
 - 3組 都大会出場
 - * 東京都大会
 - (男子シングルス)
 - ベスト4、ベスト8
 - ベスト16 ……2名
 - 3回戦進出 ……2名
 - 2回戦進出 ……2名
 - 出場 ……1名

- (男子ダブルス)
 - 準優勝、ベスト4
 - 3回戦進出 ……1組
 - 2回戦進出 ……1組
 - 出場 ……1組
- (女子シングルス)
 - 優勝、ベスト16
 - 2回戦進出 ……3組
- (女子ダブルス)
 - ベスト16、出場2組
- <団体の部>
 - (男子団体)
 - …優勝 関東大会出場
 - (女子団体)
 - …第4位 関東大会出場
- * 関東選手権大会
 - (男子団体) ……優勝
 - (女子団体) ……ベスト4

【高校】

運動部

- ラグビー部
 - * 全国大会都予選
 - * 第一地区 ……第3位
- 文化部
 - 高校ダンス部
 - * (女子) Young Sound Festival ……グランプリ
 - * (男子) クリスタルガイザーカップ
 - * 関東大会 ……第2位
 - * 全国大会 ……第5位
 - 演劇部
 - 第46回東京私立中高演劇発表会
 - 優秀賞(東京私立中高協会賞)
 - 「五億の鈴 星の贈り物
 - ～星の王子さまへのオマージュ」
 - サン・テグジュベリ原作
 - 成蹊高 演劇部脚本

小学校の近況



今 年も武蔵野の自然豊かな「秋」と「冬」の姿が、子どもたちの学校生活を覆い、創造性豊かな学習活動を支えてくれています。

例 やきいも大会の煙が 年のように校内の「松林」の中からやきいも大会の白い煙と炎が上がっています。十一月二十五日の三年生を皮切りに十二月二十一日の六年生まですべての学年で「やきいも大会」の行事を体験しました。この日のために集めた樺並木の樺の枯葉。枯葉の作り出すおき火と焚き火、その中には、さつまいも、ジャガイモ、りんごなどが子供たちの思いが込められ焼かれています。東京の学校では見ることがあまり出来なくなった秋から冬への風物詩です。焼き芋をおいしそうにはおぼる子どもたちの笑顔は本当に美しいものです。

冬の風物詩いろいろ

松 林では、落ち葉のベントに寝ころがり、落ち葉のシャワーを体いっぱい浴びています。木漏れ日の中での鬼ごっこ、自然を友とした遊びが真つ盛り、自然が子どもたちの成長を見つめてくれています。校内で、自然にみみれる活動がこんなに豊かに出来るのも成蹊ならではのものと言えるでしょう。

そして、しばらくしたら、横の蹊を朝早くから元気良く走る成蹊の子どもたちの姿が見えてきます。白い息を弾ませながら、寒さに負けずに走る小さな姿は、樺並木、桜並木を通り、また元の場所に戻ってきます。二月のマラソン大会に向けての自主練習の姿です。二月のマラソン大会で多くの保護者の応援や声援を受けて、力いっぱい自分を試すために…。

ポプラグラウンドでは年間通して行なわれているサッカーや野球にまみれてドッジボールの練習が目立つようになっています。ドッジボール大会でのクラス勝利のための練習です。みんなの力を合わせて、チームワークの輪を広げながら、ドッジボール大会当日の活躍のために…。大会の日の保護者のみなさんの応援、声援にこたえるために…。

東京一の「学校賞」受賞

今 年も子どもたちの創意工夫の「がんばり」が認められて「第四十八回東京都児童生徒発明くふう展」で「学校賞」(三校受賞)の第一席の地位を得ることができました。東京都内選りすぐりの百数校の児童の作品が、十一月も入賞を果たしたのです。

入賞の内容、点数から、成蹊の児童の創意工夫の活動がすばらしいと評価を受け、今回、受賞した受賞者、受賞校を代表して校長が次のような答辞を述べてきました。



答辞
本日は、このような盛大な表彰式を挙げていただきまして、誠にありがとうございます。各種の賞を受賞した受賞者および学校賞を受賞した受賞校を代表しまして、心よりお礼申し上げます。

私たちは、平日頃の生活の中でも「ことを見つめる力、考える力を磨いてきました。私たちは身のまわりの生活を見つめ考える中で、私たちの生活が少しでも良くなるための工夫を考え続けてきました。その思いを、創ることの楽しさや喜びにも繋げていきました。その活動は、自分だけのものではなく、私たちに支え続けてくださっている方々の「共生」のためにも、それはかせない創造活動だったのです。その成果が本日のこの受賞にも繋がっていたのです。

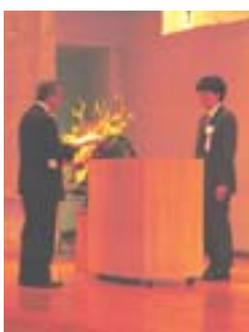
本日の受賞は、ここに参列している私たちの力だけで成し得たものではありません。共に学ぶ学校の仲間たち、私たちをいつも、やさしく見守り支え続けてくださっている家族、先生方、社会の多くの方々。たくさんの方々の力添えがあったからこそ成し得たものなのです。

私たちは、本日のこの受賞の瞬間の緊張と喜びを、いつまでも忘れることなく、更なる新しい旅立ちの時としたいと思います。これからも他者との共同生活の中で、物事や現象の動きや変化をしっかりと見つめ考えながら、「世のため人のために役立つ人となるよう、がんばり続けていきたいと思います。」

平成十六年十一月二十二日
受賞者、受賞校を代表して
成蹊小学校長 岡崎 忠彦

《特別賞》

- 東京都教育委員会賞(受賞一名)
「おばあちゃんも あけレンジャーチビタコくん」
六年 松原 蘭
- 東京商工会議所会頭賞(受賞一名)
「安心」ボツと「いて」
四年 武藤 暉昇
- 発明協会東京支部賞
渡邊発明記念(受賞一名)
「お出かけBOX」 四年 渡邊 遥
- 《優秀賞》(受賞二十一名)
「ハニカムポトルタワー」
五年 目黒 颯己
- 「切らない」 五年 吉田 悠生
- 《入選》(受賞五十名)
指出 萌(三年)／長澤 徳将(四年)
白濱 輝季(四年)／藤井 菜々子(四年)／佐々木 彩乃(六年)／飯島 沙織(六年)



創立九十一年目の新しい一歩

「十八人、四学級制」の最初の学年となる新しい一年生の入学試験を十一月一日〜五日にかけて本校で行ないました。男子五十六名、女子五十六名、合計百十二名の子どもたちが見事合格しました。「成蹊教育」の原点に帰り、更に新しい時代を創造していく、その第一期生となるこの新一年生の活躍に今後期待したいと思います。

また、来年度から始まる創立九十一年目の新しいスタートに向けて、今いる子どもたちと教職員みんなが、「がんばりたい」と決意を新たに、そのための準備の階段を一步一步確実に登っているところです。

成蹊小学校 新1年入試 実施状況

	応募者数			倍率	
	男子	女子	合計	男子	女子
平成12年度	449	367	816	6.2	8.7
平成13年度	422	334	756	5.9	8.0
平成14年度	433	369	802	6.0	8.8
平成15年度	469	334	803	6.5	8.0
平成16年度	519	351	870	7.2	8.4
平成17年度	438	414	852	7.8	7.4

※平成17年度から募集人員を112名(2名減)とし、男女の比率も同数とする。

募金局からのお知らせ

「成蹊学園創立一〇〇周年記念事業

募金推進の集い」を開催しました

十二月四日(土) 於 大学三号館一〇二号室及び大学十号館十二階ホール

成蹊学園創立一〇〇周年記念事業募金局では、二〇〇二年十月のスタート以来、同窓生・在校生・ご父母・教職員からなる発起人・募金委員・募金推進委員の各委員の方々の協力の下、募金活動を続けて参りました。

おかげ様で、これまでに多くの方々よりご支援をいただいております。

このたび、学園発展のため日頃からご尽力いただいている委員の皆様にご参集いただき、「成蹊学園創立一〇〇周年記念事業募金推進の集い」を開催しました。当日は、同窓生、在校生、ご父母の皆様をはじめ八十七名の方にお越しいただきました。

第一部の講演会では、初めに、成蹊やよい会(女学校)会長の島田喜久子様(昭和十一年高等女学校卒)より、「成蹊女学校の思い出」というテーマで講演いただきました。女学校生活の日常や当時行われていた行事などについて、ユーモアを交えながら穏やかな語り口でお話いただきました。お話の中で出てきた諸行

事は今でも続いているものが多く、成蹊の伝統が今なおしっかりと息づいていることをあらためて実感しました。

次に、伊藤昌弘広報課長が「明治四十四年十二月四日という日」と題し、成蹊学園最初の学校である成蹊実務学校開設の趣旨や背景、学校の特色などについてお話しました。明治四十四年十二月四日は、東京府(現東京都)より設立認可を受けた日です。参加者の皆様には、学園の歴史と中村春二先生の教育に対する思いについてよりいっそう理解を深めていただけたようでした。

講演会に続いて行われた委員総会では、募金委員会会長の岸曉理事長からの挨拶の後、募金委員会副会長で団法人成蹊会会長の瀬秀彦様より、成蹊会の募金活動への取り組みについて心強いご挨拶をいただきました。続いて募金委員会実行委員長に加藤節専務理事より、一〇〇周年記念事業及び募金事業の進捗状況等について報告があり、今後、募金の呼びかけを広げることへの協力要

請がなされました。

その後の質疑応答では、「一〇〇周年記念事業について、卒業生はもとより、学内の教職員や特に学生たちへの周知をもっとしっかり行うべきではないか」、「寄付金の目的や用途をもっと明確に示した方が募金のお願いがしやすいのではないか」、「学園と同窓生の「コミュニケーション」をもっと密にしたい」となど、今後の募金活動への助言を多くいただきました。

第二部の懇親会では、募金委員会副会長の栗田恵輔学長、谷正紀中学高等学校長、岡崎忠彦小学校長より、一〇〇周年記念事業の報告と各委員へのご協力に対して御礼の言葉が述べられました。

同窓生委員、在校生、ご父母委員及び教職員三者が一堂に会した懇親会は和やかな雰囲気の中で進められ、最後にグリークラブOB井上啓次郎様(政治経済学部三十九年卒・政治経済学部同窓会副会長)のリードで校歌の合唱を行い閉会となりました。

成蹊学園としましては、本会で頂戴した多くの貴重なご意見をしっかりと受け止め、今後の募金活動に活かしていく所存です。そして引き続き皆様方のご意見をいただきながら、真に「理解、ご協力をいただける募金活動を目指していきたい」と考えておりますので、引き続き皆様のご支援をお願いいたします。



ご紹介します

募金開始以来、多くの同窓生団体様から募金をお寄せいただき大変感謝しております。

同窓生団体と一口に申しましても、学校・大学・学部単位同窓会、またその卒年単位同窓会、クラブOB会、ゼミOB会、学校・学年を超えた地域同窓会、職域同窓会等々、様々な形がございます。

その中から、二つの団体をご紹介させていただきます。

成蹊SGCゴルフ会様

SGC(成蹊ゴルフクラブ)(大会実行委員長:飯田 又右衛門様/実行副委員長:横澤 規佐良様/事務局長:西川 廣様)は、成蹊出身者が一堂に集うゴルフ大会を開催したいという有志の方の熱意により結成され、平成10年11月に体育会OBの方々を中心に第1回大会が開催されたのが始まりです。

昨年11月14日には、第7回大会が市原後楽園ゴルフ&スポーツ(千葉県市原市)にて開催され、大会当日は体育会や文化会、地域同窓会等で4人1組のチームを組まれ、132名(33組)の方々ゴルフを通じて懇親を深められたとのことでした。

今回SGC(成蹊ゴルフクラブ)の団体名義でのご寄附を頂戴することとなりました。心より御礼申し上げます。

竹蹊会(経済学部竹内靖雄ゼミ会)様

竹蹊会(会長:政治経済学部昭和44年卒業 村野 儀右衛門様)は、経済学部竹内靖雄先生のゼミに所属されたご卒業生の会で、600名を超える会員数を持つゼミ会です。

竹内先生は平成16年3月にご退職となり、それを記念してこの度団体名義でご寄附を頂戴いたしました。

竹蹊会様は、先生の講義を卒業後も受けたいとの卒業生有志の強い要望により平成元年に結成され、毎年春には桜祭へのゼミ会としての出店、秋には先生の講義を受ける会を継続していらっしゃるそうです。

会員皆様のご配慮に心より御礼申し上げます。

「成長」という力

保健管理センターの窓からは、樺並木がよく見える。季節の移り変わりは、樺を通して感じることができる。そして、時の流れを覚えてくれている。

今年で、成蹊学園保健管理センターでの勤務は、9年目になる。当センターの心理臨床の現場としての特徴は、小学生である児童期に始まり、中学生の思春期を通り、大学生の青年期、成人期までの成長に関わる者にある。心理臨床に携わる者にとって、ある期間を通して、人間が成長する傍らにいられることは、学ぶべきところが大変に多く、このような機会を与えられたことに感謝している。こうした毎日から、私なりに感じていることを述べたいと思う。

社会との関係性の視点から、人間の精神発達論を提唱したのは、E・H・エリクソンである。その理論では、乳児期から、幼児期、児童期、思春期、青年期、成人期までの各時期に、心理的に獲得するテーマがあると考えている。たとえば、児童期であれば、学校という場で、知識や技能を身に付け、さらに同性の友達を作り、その中で連帯感を実感し、やがては、親との関係とは異なる親密さを体験することである。それまでは、親や先生からの価値観に疑問を持たずにいても、友人関係をベースに

した自分なりの考え方を持つようになる。そこで、様々な形で親への反発が生じるが、それを通して、自分なりの考え方や価値観を形成していく。そして思春期へと移行し、テーマはアイデンティティ（自我同一性）となる。つまり、「自分らしさ」を「社会的現実（＝学校）の中で、はつきりと存在させる」という実感を獲得することにある。それは、「居場所」探しとも捉えることができる。

カウンセリングを訪れる生徒、学生は、様々な悩みを抱えている。神経症の症状を呈していることもあるし、不登校という状態になっていることもある。現れる症状は、彼らのこころの表層である。その背景には、沢山のことがうごめいている。なかでも、家族を含めた人間関係に「まずき、動けなくなたってしまっていることは多い。居場所が見つからないのである。だから、どうしていいかわからない。誰に何を聞いたら、話したら、「今」から抜け出せるのか？こころのなかで大きいウエイトを占めている「思い」を叫びたい。でも言葉が見つからない…。症状や状態は、その思いを代弁している。

うまくいかない自分を抱えながら、苦しさに耐えている姿に接すると、時として、このトンネルから抜け出すことは夢だと思えてしま

所長の 独り言

櫻井勝

全

長八六・九五メートル、一八二・六トン、通産省(当時)の小柄な地質調査船「白嶺丸」。三菱重工によって建造された流麗な船体は、白地に青のストライプをあしらひ、大変美しい。一九九八年当時、超音波による海底地質調査については世界トップクラスの能力を誇り、日本近海に大量に眠るメタン・ハイドレートや様々な鉱脈の発見など、目覚ましい成果を挙げた。南水洋のペーリング海に



うことがある。だが、それは大人の尺度であることを、後に知らされることになる。考え尽くし、悩みぬいたその後に踏み出す一歩は、エネルギーに満ち、とてもしっかりしている。一見、動けずに止まっているように見えても、こころは前進していたに違いない。それは、

おいてもその海底調査能力を活かした重要な任務を任されていた。船内には艦橋や機関室、研究室や工作室、娯楽室、サロンの食堂等が限られた空間に上手に配置されていた。特にコンピュータや電子機器の充実ぶりには驚かされた。流石は調査船である。

乗務員は船長以下、私を除く一四名のオフィサーと二〇名の船員で、一日三交代制で任に就いた。研究者達とはフリーマントルで合流する。

船の中は船長を頂点とした完全な縦社会であり、オフィサーと一般船員とは与えられる部屋も食事の場所も異なる。しかし、その体制自体を非難する船員は一人もない。オフィサーが居なければ船は全く動かないし、何か事が起これば、船長以下オフィサーは命を懸けて乗務員と船を守る事を知っているからである。そんな船乗りの

自然治癒力とは違う、「成長」であり、その成長がもたらす力なのだろう。その姿を見ていると、自然と人間の可能性を信じる気持ちになることができる。

死を迎える時期までをライフサイクルと考え、「自分の全人格の統合（＝個性化）」をテーマとしている。思春期の頃に、意識し始めた「自分らしさ」を、私たちは、生涯を通して、考え、追い求めながら、成長していくのかもしれない。

臨床心理士 宮澤かずみ



(つづく)

“激アツ”成蹊大学体育会

ラグビー部が昨年に引き続き関東大学ラグビー対抗戦Bグループで優勝!

昨シーズン関東大学ラグビー対抗戦Bグループで初優勝を果たしたラグビー部が、今季も見事優勝の栄冠を手に入れました。5勝1分で迎えた11月21日の最終戦で成城大学を37対15で下し、2年連続優勝という快挙を成し遂げました。

勢いに乗ったラグビー部は、早稲田大学、慶應大学、明治大学等強豪がひしめく大学ラグビー最高峰リーグのAグループ(1部)昇格をかけ、12月11日に、Aグループ8位の青山学院と入れ替え戦を行いました。結果は惜しくも負けてしまいましたが、近年メキメキと力をつけてきているラグビー部の今後の活躍が大いに期待できます。



ヨット部 虎岩・川島組が全日本学生女子ヨット選手権大会にて堂々5位入賞!



9月24日～26日に開催された第13回全日本学生女子ヨット選手権大会スナイプ級の部で、ヨット部の虎岩杏奈さん(経済学部4年)・川島麻希さん(経済学部2年)組が見事5位に入賞しました。大会に先立ち春と秋に行われた関東学生女子ヨット選手権でそれぞれ3位、6位に入賞、関東地区からは51大学中

11大学にしか与えられない出場権を獲得し臨んだ全国大会で、持てる力を如何なく発揮し、堂々ベスト5に輝きました。

他の入賞チームはスポーツ推薦で入学した部員ばかりという強豪揃いの大会で、実にすばらしい成績を収めました。

(写真右が虎岩さん、左が川島さん)

水泳部男子インカレベスト16! 星堅一郎君(工学部3年)がリーグ戦得点王に!

10月28日、水泳部男子がインカレ(第80回日本学生選手権水泳競技大会水球競技)に出場し、初戦で中部地区1位の金沢工業大学を7対4で敗り、見事勝利を収めました。続く2戦目では関東地区1部リーグ2位の日本大学と対戦、格上の相手に果敢に勝負するも善戦及ばず敗れてしまいましたが、全国でベスト16入りと大健闘しました。

また、インカレ出場権を獲得した関東学生リーグ戦では、星堅一郎君(工学部3年)が同リーグ戦で最多の39得点をあげ得点王に選ばれました!



イベント

成蹊学園フレンドシップ・コンサート開催

12月5日、ウィーン・フィルのメンバーである「ウィーン・アルカディア・ピアノ四重奏団」をお招きし、武蔵野市民文化会館大ホールにて成蹊学園フレンドシップ・コンサートを開催しました。2002年に学園創立90周年記念事業の一環としてスタートしました本コンサートも今回で3回目となりました。当日は、武蔵野市民の方々をはじめ、生徒・学生・保護者・教職員など約1,000名の方にお越しいただきました。

今回初参加となった成蹊小学校・太鼓部による力強い和太鼓で始まり、ウィーン・アルカディア・ピアノ四重奏団によるドヴォルザーク



ク「ピアノ四重奏曲第1番」の美しい旋律、続いてウィーン・アルカディア・ピアノ四重奏団と成蹊大学管弦楽団が奏でるドヴォルザーク「交響曲第7番」の息の合ったアンサンブ



ル、そしてアンコールにニューイヤーの定番「ラデツキー行進曲」と盛りだくさんの内容で、場内は大いに盛り上がりました。

第43回櫓祭(大学学園祭)開催



11月19日～21日に、第43回櫓祭(実行委員長 経済学部3年 佐藤 孝洋さん)が行われました。穏やかな秋晴れの下、たくさんの方々にお越しいただき、連日大盛況でした。また、並行して開催された受験生向けのオープンキャンパスには、ご父母の方を含め約1,600名の方にお越しいただきました。

おもな学校行事予定(1月~3月)

	大学	高等学校	中学校	小学校
1月	11(火)~17(月) 補講期間 15(土)、16(日) 大学入試センター試験 18(火)~31(月) 後期試験 21(金) (法科大学院)後期授業終了 22(土)~26(水) (法科大学院)補講期間 24(月)、25(火) 後期レポート試験(提出期間) 27(木)~2/2(水) (法科大学院)後期試験	11(火)、12(水) 推薦テスト 13(木) 始業式 17(月)~22(土) 文化部発表会 25(火)~30(日) 一般入試願書受付	8(土) 始業式 11(火) 国際学級入学試験(第1回) 17(月)~22(土) 文化部発表会 20(木)~23(日) 一般入試願書受付	11(火) 始業式 12(水) 国際学級入試願書交付
2月	1(火)~3/30(水) 春期休業 3(木)~3/31(木) (法科大学院)春期休業 11(金)~14(月) A方式入試 (理工・文・経済・法学部)	2(水)~5(土) 帰国子女入試願書受付 10(木) 入学試験 14(月) 帰国子女入学試験 22(火) マラソン大会	1(火) 入学試験 12(土)~18(金) 国際学級入試願書受付(第2回) 22(火) 耐寒健歩会 23(水) 国際学級入学試験(第2回)	19(土) 小学校枯林忌
3月	19(土) 学位授与式	1(火)~11(金) 高2編入試験願書受付 2(水)~7(月) 年末テスト 8(火) 卒業式 15(火) 高2編入学試験 18(金) 終業式・保護者会	2(水)~7(月) 学年末テスト 16(水) 球技大会 17(木) 終業式・保護者会 18(金) 卒業式	1(火) 国際学級入試願書締切 5(土) 国際学級5年入学試験 17(木) 卒業式 18(金) 修業式・教室移動

2月21日(月)は学園創立者・中村春二先生の命日です。先生は枯林という雅号を持っておられました。成蹊学園では先生の命日を「枯林忌」として先生をお偲びしています。



当時使われていた茶釜



「茶味」



奥田正造先生

「奥田正造と茶の世界」展

成蹊女学校二代目校長、奥田正造は著書『茶味(さみ)』の中で、侘び茶を完成した千利休の簡素静寂の精神をくみ、仏教の先賢を訪ねて心を練ることを説きました。一九一九(大正八)年に創立者中村春二に乞われて出版したこの『茶味』は、その後再版され続け、「心の茶」と評された奥田の茶道は今も現代に息づいています。

一九一七(大正六)年、奥田は中村に招かれて成蹊女学校で茶道の教鞭をとります。精神の集中を教育の眼目として、自ら考案した「凝念」を据えていた中村は奥田の授業をみて「茶道こそ凝念の境地の活現であり実用である」と気づき、奥田に女学校教員を任せました。

その後、奥田は長野県の教員講習に招かれ、それが機縁となり長野県での茶道講習会が始まりました。一九四九(昭和二四)年までの間その数三〇四回に及び各地で「不言会」が結成され、奥田の茶道は現在も長野県を中心に「法母庵(ほうもあん)友の会」として継承されています。

今回、「法母庵友の会」より奥田の貴重な史料の寄贈を受けたことを契機とし、本年の学園史料館のテーマである「大正という時代」に併せて史料館一階ロビーにて特別展「奥田正造と茶の世界」を開催いたしました。『茶味』をはじめ、奥田の茶道の背景となった仏教や女学校教育などさまざまな史料を展示しております。当時の茶道の一面面を紹介すると共に、大正自由教育のなかで茶道を通じた人格教育を実践した奥田正造にスポットをあてることで、来館者に「大正の文化」を紹介することを目的としています。三月末まで展示予定です。興味がおありの方はどうぞお立ち寄り下さい。



成蹊学園広報

2005年1月10日 発行 学校法人成蹊学園 総務部広報課
東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1 電話 (0422)37-3517

URL <http://www.seikei.ac.jp> E-mail koho@jim.seikei.ac.jp